

平成 30 年度日本工学会 会長懇談会
「日本のものづくりはこのままでよいのか」プログラム (案)

日時：平成 30 年 11 月 1 日 13:00-17:00

場所：機械振興会館 6 階 6-66 会議室 (〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8)

<http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>

《開催趣旨》

戦後すぐの安かろう悪かろうと悪評高かった我が国のものづくりは、その後人々の懸命の努力と最新の技術開発、日本人のアイデンティティに基づいた丁寧な仕上げや匠の技なども取り入れることにより、世界最高の日本ブランドを築くことに成功した。この我が国のものづくりは、元々ほとんど資源・エネルギーを持たない日本を経済大国に押し上げる原動力となった。しかしながら、AI や IoT、ビッグデータ、人口減少や価値観の多様化、生活の多様性、地球温暖化など大きく変わる科学技術環境や内外の社会環境の下、我が国のものづくりは大きな曲がり角にさしかかっている。今後我が国のものづくりがどう変わりどういう方向に向かうべきかを学協会トップが集まり議論して、広く社会に発信する。

今回は広くご意見をお聞きできるよう、会長等に限定せず各学協会の会員にもご参加願うこととする。

《次 第》

(総司会：公益社団法人日本工学会 高木 真人理事)

13:00-13:15 開会の辞

佐藤 順一 公益社団法人日本工学会 会長

13:15-14:15 基調講演

松尾 泰樹 文部科学省 科学技術・学術政策局長

渡邊 昇治 経済産業省大臣官房審議官 (産業技術環境局)

「Society5.0 の実現に向けた産業界の取組み

—産学連携オープンイノベーションの推進—

須藤 亮 株式会社東芝 特別嘱託・産業競争力懇談会 専務理事・実行委員長

公益社団法人日本工学会 副会長

14:15-14:25 休憩

14:25-15:40 パネリスト講演

「あかりが拓く健康で生産性の高い快適なくらし—Society 5.0」

井上 容子 一般社団法人照明学会 会長

奈良女子大学 生活環境学部住環境学科 教授

「新しいものづくりにおける機械工学の役割」

佐々木 直哉 一般社団法人日本機械学会 会長

株式会社日立製作所 技師長

「航空宇宙分野における分野横断型の産学官連携の取組み」

渡辺 重哉 一般社団法人日本航空宇宙学会 筆頭副会長

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構

航空技術部門次世代航空イノベーションハブ ハブ長

「デジタル化が変える造船・海洋産業」

大和 裕幸 公益社団法人日本船舶海洋工学会 元会長

国立研究開発法人海上・港湾・航空研究所 理事長

「Society 5.0 をささえるシステム技術 —ものづくりとことづくり」

本多 敏 横断型基幹科学技術研究団体連合 副会長

公益社団法人計測自動制御学会 元会長

15:40-15:50 休憩

15:50-16:50 総合討論

佐藤 順一 会長、各パネリスト

(司会：佐藤 徹 事業企画委員長)

16:50-17:00 閉会の辞

小松 利光 公益社団法人日本工学会 副会長

(参加は無料ですが、資料ご入用の場合は代金 1,000 円を貰い受けます)

☆上記会長懇談会終了後、交流会を開催しますのでご出席お願い致します。

時 間：17:10-19:00

場 所：機械振興会館 6 階 6-65 会議室 (会長懇談会の隣の部屋です)

参加費：3,000 円